

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月7日

上場会社名 株式会社 藤商事 上場取引所 東
 コード番号 6257 URL <https://www.fujimarukun.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今山 武成
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 村上 和繁 TEL 06-6949-0323
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	30,740	3.8	6,206	18.4	6,409	21.5	4,299	8.0
2024年3月期第3四半期	29,626	11.3	5,243	18.2	5,276	14.2	3,982	0.9

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 8,374百万円 (149.8%) 2024年3月期第3四半期 3,352百万円 (△27.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	205.72	—
2024年3月期第3四半期	190.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	59,098	50,069	84.7
2024年3月期	51,344	42,941	83.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 50,069百万円 2024年3月期 42,933百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
2025年3月期	—	25.00	—		
2025年3月期（予想）				30.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	0.0	5,000	2.4	5,000	1.5	3,700	1.5	177.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。連結業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表いたします。詳細は添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	22,895,500株	2024年3月期	24,395,500株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,988,311株	2024年3月期	3,500,154株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	20,902,151株	2024年3月期3Q	20,895,354株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2025年 2 月 7 日 (金) に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞継続など海外景気の下振れリスクや物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分留意することが必要な状況にあるものの、雇用・所得環境が改善するもとで各種政策の効果もあり、景気はこのところ緩やかに回復しております。

パチンコホール業界におきましては、のめり込み防止や依存症対策の一環として、リカバリーサポート・ネットワークの啓発をはじめ、さまざまな施策を通じてファンの皆様がパチンコ・パチスロをより安心・安全に楽しめる環境づくりを推進しております。

遊技機業界におきましては、ゲーム性や遊技環境、セキュリティの向上などに寄与するとされる「スマート遊技機」の普及促進が行われているなかで、パチスロ遊技機ではスマートパチスロが市場を牽引する形で稼働は回復しており、当社グループを含めたパチスロメーカー各社から発売される主要な機種が多くがスマートパチスロとして発売されております。パチンコ遊技機では新しい出玉の波を創出する機能「ラッキートリガー」を搭載した機種が市場投入され好調な稼働実績を残すタイトルもみられ、市場環境の活性化への期待が見込まれております。

このような状況のもと、当社グループといたしましては、「ブランドの強化」と「経営基盤の強化」を最重点課題としたうえで、引き続き、市場トレンドの先端を行く機種開発に取り組み、お客様に支持される遊技機を安定的に供給することにより、販売台数の確保に努めております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、当社の新規タイトルとしてパチンコ遊技機、パチスロ遊技機ともに1機種を市場投入いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高307億40百万円（対前年同期比3.8%増）、営業利益62億6百万円（同18.4%増）、経常利益64億9百万円（同21.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益42億99百万円（同8.0%増）となりました。

※製品別の状況は次のとおりであります。

（パチンコ遊技機）

パチンコ遊技機につきましては、新規タイトルとして「P世界最高の暗殺者、異世界貴族に転生する」（2024年12月発売）を市場投入いたしました。また、前連結会計年度に発売したシリーズ機種などを継続販売いたしました。

以上の結果、販売台数は59千台（対前年同期比39.6%増）、売上高は231億67百万円（同41.4%増）となりました。

（パチスロ遊技機）

パチスロ遊技機につきましては、新規タイトルとして「スマスロ 一方通行 とある魔術の禁書目録」（2024年11月発売）を市場投入いたしました。

以上の結果、販売台数は17千台（対前年同期比39.1%減）、売上高は75億73百万円（同42.8%減）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は356億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億91百万円増加いたしました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が17億57百万円、現金及び預金が5億43百万円増加したことに対し、原材料及び貯蔵品が1億51百万円減少したことによるものであります。固定資産は234億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ50億62百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券が64億6百万円増加したことに対し、繰延税金資産が7億46百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は590億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ77億53百万円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は55億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億88百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が3億58百万円増加したことに対し、買掛金が16億41百万円減少したことによるものであります。固定負債は34億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億14百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金負債が17億96百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は90億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億25百万円増加いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は500億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ71億27百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益42億99百万円、その他有価証券評価差額金の増加41億26百万円および剰余金の配当11億49百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は84.7%（前連結会計年度末は83.6%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度における販売台数は堅調に推移しており、当初計画（90千台）を上回る約92千台を見込んでおります。

しかしながら、パチンコ遊技機の販売形態の内訳におきましては、当初計画から新台販売が約10千台減少し、売上高および利益額の低いエコ販売が約12千台増加する見通しとなりました。

また、2025年7月7日からスマートパチンコにのみ搭載されるラッキートリガー3.0プラスの解禁が予定されており、ここを起点にスマートパチンコの普及が加速されると予想されます。そのため、当社のパチンコ遊技機の販売におきましても、2025年7月以降、スマートパチンコ中心の販売に移行する予定としております。

そのため、当連結会計年度に従来機（P機）の本体枠の在庫を見直し、評価損を計上する見込みとなりました。

これらにより、通期連結業績につきましては現在精査中であり、修正の必要性が生じた場合、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,133	20,677
受取手形、売掛金及び契約資産	4,188	5,946
商品及び製品	16	135
原材料及び貯蔵品	6,729	6,578
前渡金	1,645	2,008
未収還付法人税等	50	—
その他	359	464
貸倒引当金	△138	△133
流動資産合計	32,985	35,676
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,578	2,655
土地	3,152	3,152
その他（純額）	1,750	1,475
有形固定資産合計	7,480	7,283
無形固定資産	872	785
投資その他の資産		
投資有価証券	5,721	12,127
長期前払費用	2,829	2,531
繰延税金資産	746	—
その他	1,197	1,183
貸倒引当金	△488	△489
投資その他の資産合計	10,006	15,352
固定資産合計	18,359	23,421
資産合計	51,344	59,098

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,896	2,255
未払法人税等	542	900
賞与引当金	603	324
役員賞与引当金	130	—
その他	1,550	2,053
流動負債合計	6,723	5,534
固定負債		
退職給付に係る負債	766	785
繰延税金負債	—	1,796
その他	913	913
固定負債合計	1,679	3,494
負債合計	8,403	9,029
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,281	3,281
資本剰余金	3,228	3,228
利益剰余金	38,183	39,324
自己株式	△4,685	△2,661
株主資本合計	40,007	43,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,717	6,844
退職給付に係る調整累計額	208	52
その他の包括利益累計額合計	2,925	6,896
新株予約権	8	—
純資産合計	42,941	50,069
負債純資産合計	51,344	59,098

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
売上高	29,626	30,740
売上原価	13,314	13,814
売上総利益	16,312	16,926
販売費及び一般管理費	11,068	10,719
営業利益	5,243	6,206
営業外収益		
受取利息	2	6
受取配当金	50	150
利用分量配当金	17	10
その他	51	45
営業外収益合計	122	213
営業外費用		
賃貸収入原価	3	3
シンジケートローン手数料	84	6
その他	0	0
営業外費用合計	89	10
経常利益	5,276	6,409
特別利益		
固定資産売却益	2	6
特別利益合計	2	6
特別損失		
投資有価証券評価損	0	—
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	3	22
減損損失	—	25
関係会社株式評価損	52	14
特別損失合計	56	63
税金等調整前四半期純利益	5,223	6,352
法人税、住民税及び事業税	752	1,287
法人税等調整額	488	765
法人税等合計	1,241	2,052
四半期純利益	3,982	4,299
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,982	4,299

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	3,982	4,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△685	4,126
退職給付に係る調整額	55	△52
その他の包括利益合計	△629	4,074
四半期包括利益	3,352	8,374
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,352	8,374

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

（自己株式の消却）

当社は、2024年5月10日開催の取締役会決議に基づき、2024年5月27日付で、自己株式1,500,000株の消却を実施しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金および自己株式2,007百万円がそれぞれ減少しております。

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
減価償却費	1,262百万円	1,270百万円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）および当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

当社グループは、遊技機事業の単一セグメントにより構成されており、記載を省略しております。